



# 被爆者を 生き抜く

【新着資料紹介】

資料から見えてくる

兒玉 光雄 さん

兒玉 光雄 …1932年広島市荒神町生まれ。1945年8月6日、広島県立広島第一中学校にて被爆。20を超えるがん向き合い、被爆を問い、考え、伝え、「被爆者」として生き抜く。2020年死去。

写真：兒玉 光雄 さん

兒玉光雄資料より  
「西オーストラリアのワイルドフラワーに包まれて」

【期間】 2023年 3月10日(金) ~ 5月26日(金)

入場無料

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日閉館)

【会場】

広島大学医学部  
医学資料館

広島大学霞キャンパス (大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点  
(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所  
附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】

新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

問い合わせ ☎082-257-5877 / kohosha@hiroshima-u.ac.jp 解析部事務